

---

# 140文字小説 その2

並木 道生

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

140文字小説 その2

### 【Nコード】

N2619V

### 【作者名】

並木 道生

### 【あらすじ】

ツイッターの#twnovelに投稿した話です

「ながく生きてると、いろんな事がありますよね」「そうですね、私も色々ありました」「今年80になるんですが、それはもう大変な時もありました」「私は今年で400歳になります、流れ流れて東洋の果てまで来ました」そういうと男は尖った牙をむき出しにしてニツと笑った

「あなたが勇者という事で、魔王を倒してください。私は魔王に囚われて塔の中に姫としていますので、60時間の内にクリアお願いします」と真剣な顔で言われてしまい、いやいや、僕は魔法使いになりたいんだ、とかなんとか言ったら「鈍い鈍すぎる」と酒場の主人に笑われた。

ロボットを作り続けて40年。ついに社長もロボットになりました。従業員もすべてロボットです。これからも地球をロボットだけの星にすべく邁進して参ります。

巨大UFOが地球の至る所に現れたのでビックリした。UFOはただ浮いているだけなので、政治家たちがコンタクトを取ろうとする。「うるさい！」と一喝された。動物に興味は無く植物との友好を深めに来たということだ。

ある朝起きると、僕らは植物になっていた。私は桜。私は梅。僕は松になった。俺、キンモクセイとかいうのになったよ。クラスメイトがそれぞれの植物について熱心に語る中、教室に入った僕を見て、みんな黙り込んでしまった。なぜなら僕だけ一夏で枯れるヒマワリだったから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2619v/>

---

140文字小説 その2

2011年10月9日10時22分発行